

愛知県経済の現状と見通し<2023年3月>

1. 景気判断 一覧表

部門	個別項目	基調判断(方向等)	基調判断の 前月との 比較(注1)	水準評価 (注2)
		詳細		
総括判断	景気の現状	持ち直しの動きに一服感がみられる		
		消費は持ち直しつつあるものの、世界経済の減速により生産、輸出は弱い動きがみられ、県内景気は持ち直しの動きに一服感。		
家計部門	個人消費	持ち直しつつある		
	雇用	緩やかに持ち直しつつある		
	住宅投資	持ち直しの動き		
企業部門	企業活動	足踏み		
	企業倒産	悪化しつつある		
海外部門	輸出	足踏み		
公共部門	公共投資	一進一退		

当面の見通し	<p>緩やかに持ち直す見通し</p> <p>対面サービスを中心に個人消費の持ち直しが期待され、景気は緩やかな持ち直しが続くとみられる一方、物価高や海外経済の減速による景気下押し圧力が強まる可能性も。</p>
--------	---

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、: 上方修正、: 据え置き、: 下方修正を示す。

(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、: 晴、: 晴～曇、: 曇、: 曇～雨、: 雨、を示す。

(注3)個別項目の見通しは、特に表記がない場合には先行き半年間程度の見通しを示す。

お問い合わせ先	三十三総研 調査部 中田
	電話: 059-354-7102 Mail: 33ir@33bank.co.jp

## 2. 個別部門の動向: 家計部門

個人消費	持ち直しつつある	基調判断の前月との比較	➡
		水準評価	⊗

### 《現状》

- 個人消費は、持ち直しつつある。
- 個人消費の動向を支出側からみると、1月の消費支出(勤労者世帯、名古屋市)は、前年比+16.8%と11か月連続の増加(図表1)。住居(▲57.1%)が減少したものの、教育(同+310.4%)や食料(同+23.4%)を中心に、多くの項目が増加。
- 個人消費の動向を販売側からみると、1月の百貨店販売額は、前年比+18.6%と16か月連続の増加。3年ぶりに行動制限のない初売りや催事がけん引した。また、スーパー販売額は物価上昇の影響による節約志向が強まり、同▲2.2%と4か月ぶりの減少。(図表2)。
- 2月の新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)は、前年比+24.7%と2か月連続の増加(図表3)。内訳をみると、普通車(同+46.9%)、小型車(同+2.1%)が2か月連続、軽乗用車(同+13.7%)が6か月連続でそれぞれ増加した。半導体不足による生産制約が緩和傾向にある。

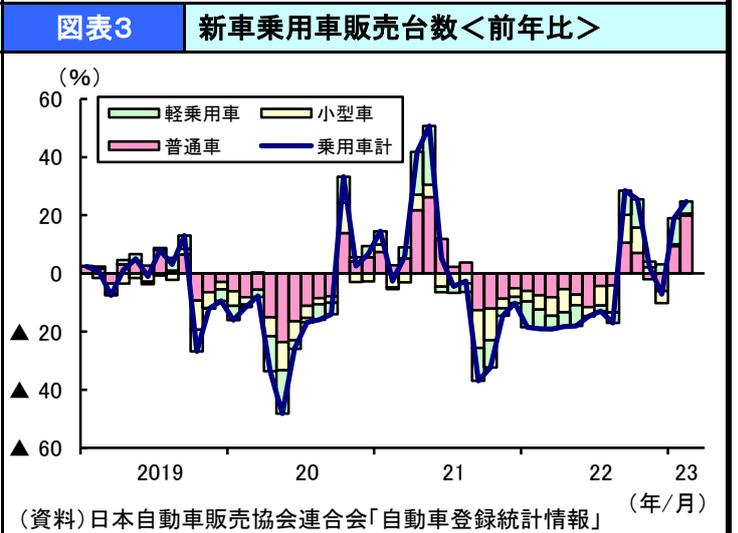
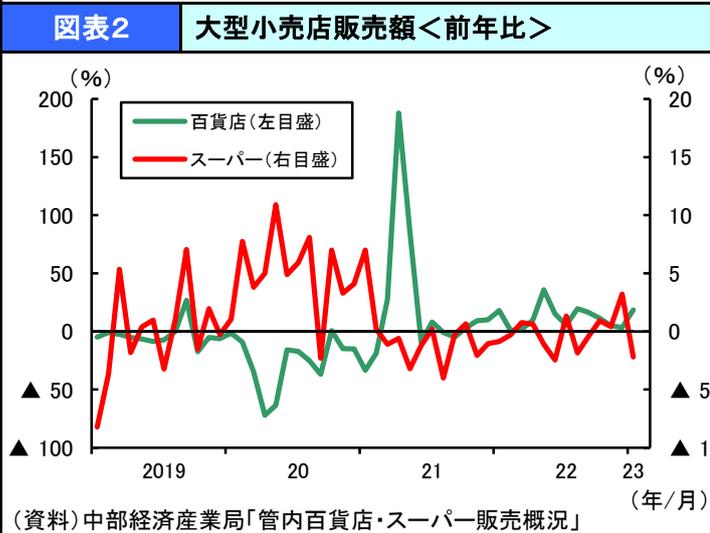
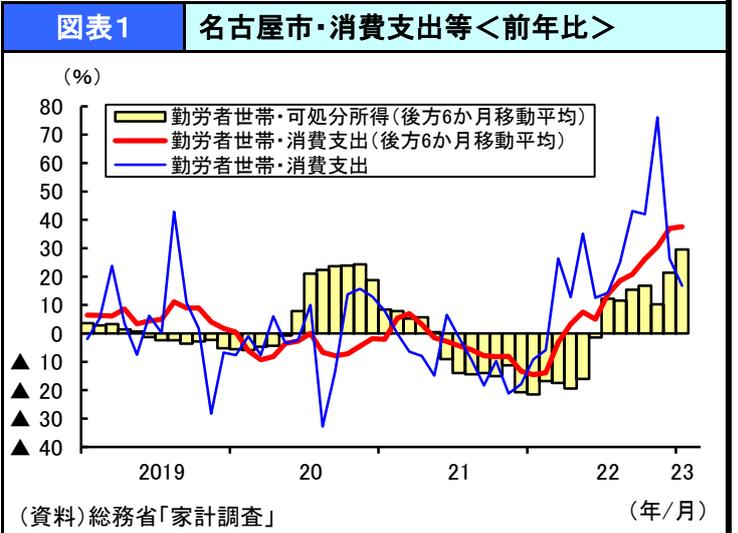
### 《見通し》

- 政府は新型コロナウイルスの感染症法上の分類を5月8日に5類に変更すると発表。対面型サービスを中心に消費活動が一段と進む見通し。一方、住宅ローンの金利上昇に伴う利息負担の増加や、物価上昇の影響による節約志向の高まりから、持ち直しペースが鈍化する懸念も。

**◆1月 勤労者世帯・消費支出(名古屋市)**  
 前年比+16.8%(11か月連続の増加)  
 ・教育:前年比+310.4%(5か月連続の増加)  
 ・食料:前年比+23.4%(6か月連続の増加)

**◆1月 大型小売店販売額**  
 ・百貨店:前年比+18.6%(16か月連続の増加)  
 ・スーパー:前年比▲2.2%(4か月ぶりの減少)

**◆2月 新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)**  
 29,116台 前年比+24.7%(2か月連続の増加)  
 ・普通車 14,597台  
 前年比+46.9%(2か月連続の増加)



<b>雇用</b>	<b>緩やかに持ち直しつつある</b>	<b>基調判断の前月との比較</b>	⇒
		<b>水準評価</b>	☁
<p><b>《現状》</b>                  ○雇用は、緩やかに持ち直しつつある。                  ○1月の雇用環境をみると、有効求人倍率は1.42倍（前月差▲0.02ポイント）と28か月ぶりの低下。新規求人倍率は2.50倍（同+0.02ポイント）と2か月ぶりの上昇（図表4）。新規求人数は前年比▲0.7%と22か月ぶりの減少。業種別にみると、運輸業・郵便業（同+9.5%）、宿泊業・飲食サービス業（同+0.9%）が増加した一方、製造業（同▲8.9%）、情報通信業（同▲8.3%）、卸売業・小売業（同▲7.9%）などが減少。</p> <p><b>《見通し》</b>                  ○サービス消費の持ち直しにより、飲食店やホテル・旅館など対面型サービス業では人手不足感が強まっている。先行きの雇用環境は、緩やかな改善が続く見通し。</p>			
<p><b>◆1月 求人倍率(季節調整値)</b>                  ・有効求人倍率:1.42倍                  前月差▲0.02ポイント(28か月ぶりの低下)                  ・新規求人倍率:2.50倍                  前月差+0.02ポイント(2か月ぶりの上昇)  <b>◆1月 新規求人数(原数値)</b>                  ・前年比 ▲0.7%(22か月ぶりの減少)</p>		<p><b>図表4 有効・新規求人倍率&lt;季節調整値&gt;</b></p> <p>(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」</p>	

<b>住宅投資</b>	<b>持ち直しの動き</b>	<b>基調判断の前月との比較</b>	↗
		<b>水準評価</b>	☁
<p><b>《現状》</b>                  ○住宅投資は、持ち直しの動き。                  ○1月の住宅着工戸数は、前年比+4.9%と3か月連続の増加（図表5）。利用関係別にみると、持家（同▲5.1%）が11か月連続で減少したものの、貸家（同+10.3%）が3か月連続、分譲マンション（同+39.2%）や分譲一戸建て（▲6.2%）の分譲住宅（同+9.0%）が4か月連続で増加。</p> <p><b>《見通し》</b>                  ○先行きは、コロナ禍で先送りされていた需要の回復が期待され、住宅投資は底堅く推移するとみられるものの、建築資材の高騰に伴う住宅価格の上昇が住宅投資の抑制要因となる懸念も。</p>			
<p><b>◆1月 住宅着工戸数</b>                  4,236戸 前年比+4.9%(3か月連続の増加)                  ・持家:1,240戸                  前年比▲5.1%(11か月連続の減少)                  ・貸家:1,418戸                  前年比+10.3%(3か月連続の増加)                  ・分譲:1,572戸                  前年比+9.0%(4か月連続の増加)</p>		<p><b>図表5 新設住宅着工戸数&lt;前年比&gt;</b></p> <p>(資料)国土交通省「住宅着工統計」</p>	

3. 個別部門の動向: 企業部門

<b>企業活動</b>	<b>足踏み</b>	<b>基調判断の前月との比較</b>	➡
		<b>水準評価</b>	☁
<p><b>《現状》</b></p> <p>○企業の生産活動は、足踏み。</p> <p>○1月の鉱工業生産指数は、前年比+6.5%と3か月ぶりの上昇(図表6)。鉄鋼(同▲11.2%)が13か月連続、生産用機械(同▲1.5%)が23か月ぶりに低下した一方、輸送機械(同+17.9%)が3か月ぶり、電気機械(同+15.2%)が15か月連続で上昇。</p> <p><b>《見通し》</b></p> <p>○トヨタ自動車は、受注残の解消に向けて2月以降の国内生産水準を引き上げる計画。輸送機械は半導体不足による生産制約が緩和しつつあるものの、見通しは依然流動的。生産用機械は世界的な景気減速の影響により、企業が設備投資に慎重姿勢となるなど、持ち直しペースの鈍化が予想される。総じてみれば足踏み状態が続く見通し。</p>			
<p><b>◆1月 鉱工業生産</b></p> <p>前年比+6.5%(3か月ぶりの上昇)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送機械: 前年比+17.9%(3か月ぶりの上昇)</li> <li>・鉄鋼: 前年比▲11.2%(13か月連続の低下)</li> <li>・生産用機械: 前年比▲1.5%(23か月ぶりの低下)</li> <li>・電気機械: 前年比+15.2%(15か月連続の上昇)</li> </ul>		<p><b>図表6 鉱工業生産指数&lt;前年比&gt;</b></p>	
		<p>(資料)愛知県県民生活部統計課「愛知県鉱工業指数」</p>	

<b>企業倒産</b>	<b>悪化しつつある</b>	<b>基調判断の前月との比較</b>	➡
		<b>水準評価</b>	☁
<p><b>《現状》</b></p> <p>○企業倒産は、悪化しつつある。</p> <p>○2月の県下倒産状況(負債総額1,000万円以上)をみると、倒産件数は37件(前年比+20件)と2か月連続の増加。負債総額は26億円(同+11億円)と2か月連続の増加(図表7)。負債総額が10億円以上の大型倒産の発生は無かったものの、倒産件数が2か月連続で前年比で20件以上増えるなど、増加傾向が顕著に。</p> <p><b>《見通し》</b></p> <p>○原材料・エネルギー価格の高騰による仕入コストや光熱費の上昇、人手不足による人件費上昇などの業績圧迫要因に加え、コロナ融資の返済が本格化し、経営再建を断念する息切れ倒産が増加する可能性も。</p>			
<p><b>◆2月 企業倒産</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倒産件数: 37件 前年比+20件(2か月連続の増加)</li> <li>・負債総額: 26億円 前年比+11億円(2か月連続の増加)</li> </ul>		<p><b>図表7 倒産件数・負債総額&lt;前年比&gt;</b></p>	
		<p>(資料)㈱東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」 (注)負債総額1,000万円以上</p>	

#### 4. 個別部門の動向:海外部門

輸出	足踏み	基調判断の前月との比較	➡
		水準評価	☀️🌧️
<p>◀️<b>現状</b>▶️</p> <p>○輸出は、足踏み。</p> <p>○2月の名古屋港通関輸出額は、前年比+7.1%と16か月連続の増加(図表8)。仕向地別にみると、海外経済の減速により、中国向け(同▲27.7%)が4か月連続で減少した一方、米国向け(同+33.9%)が7か月連続で増加。品目別にみると、自動車の部分品(同▲21.8%)が減少した一方、自動車(同+54.0%)が増加。</p> <p>◀️<b>見通し</b>▶️</p> <p>○ゼロコロナ政策解除による混乱が続く中国向けの落ち込みは徐々に解消に向かうとみられる。一方、世界的なインフレ、金利上昇、ウクライナ情勢の影響による海外の景気減速見通しから、輸出全体の持ち直しペースは鈍化する見通し。</p>			
<p>◆2月 名古屋港通関輸出額</p> <p>11,292億円 前年比+7.1%(16か月連続の増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米国:前年比+33.9%(7か月連続の増加)</li> <li>・中国:前年比▲27.7%(4か月連続の減少)</li> </ul>		<p><b>図表8</b> 名古屋港通関輸出額&lt;前年比&gt;</p> <p>(資料)名古屋税関「管内貿易概況」 (年/月)</p>	

#### 5. 個別部門の動向:公共部門

公共投資	一進一退	基調判断の前月との比較	➡
		水準評価	☁️
<p>◀️<b>現状</b>▶️</p> <p>○公共投資は、一進一退。</p> <p>○2月の公共工事請負状況をみると、請負件数は前年比▲0.4%と2か月連続の減少。請負金額は同+9.6%と3か月ぶりの増加(図表9)。請負金額を発注者別にみると、県(同▲10.7%)や市町村(同▲34.0%)が減少したものの、国(同+59.0%)が増加した。</p> <p>◀️<b>見通し</b>▶️</p> <p>○リニア中央新幹線開業を見据えた名古屋駅スーパーターミナル化、ジブリパークの整備、中部国際空港の将来構想など大型案件が見込まれ、公共投資は持ち直しに向かう見込み。</p>			
<p>◆2月 公共投資</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共工事請負件数:273件 前年比▲0.4%(2か月連続の減少)</li> <li>・公共工事請負金額:255億円 前年比+9.6%(3か月ぶりの増加)</li> </ul>		<p><b>図表9</b> 公共工事請負金額&lt;前年比&gt;</p> <p>(資料)東日本建設業保証㈱「愛知県内の前払金保証取扱高」 (年/月)</p>	

# 県内経済トピックス

(2023年2月)



## 1. 愛知県は環境にやさしい行動に独自のポイントを発行

- 2月15日、愛知県は環境に配慮する行動「エコアクション」に、県独自のポイント「あいちエコアクション・ポイント」を発行する事業を開始した。脱炭素・循環型の生活様式の転換や行動変容を促すのが狙い。
- 参加店舗などでエコアクションをして、それぞれに設けられた専用QRコードをスマートフォンで読み取るとポイントを獲得できる。300ポイントをためるごとに商品券や菌床椎茸栽培キットなどの商品が当たる抽選に参加できる。参加費は無料。
- 県内の家電量販店、ドラッグストア、コンビニ、クリーニング店、飲食店など約4,000店舗で省エネ家電や詰替え商品などのグリーン購入や、飲食店での食べ残しゼロなどのエコアクションがポイント付与の対象となる。

## 2. 愛知県は2023年度予算案を発表 過去最大の2.9兆円

- 2月17日、愛知県は一般会計の総額で2兆9,657億円となる2023年度予算案を発表し、22日の定例議会に提出した。2022年度当初予算に比べ4.9%増え、4年連続で過去最大を更新した。
- 新型コロナウイルス対策に引き続き手厚く配分するほか、スタートアップ支援やジブリパーク整備、女性活躍などの重点施策を拡充する。5日の投票で4度目の当選を果たした大村秀章知事は、17日の記者会見で「コロナを克服し、愛知の経済・産業力をさらに強くする」と強調した。
- 歳出増は介護給付費の負担金など扶助費が3,291億円と2022年度当初比で6%増えるほか、コロナ対策として、第7波(22年7～10月)の実績ベースで年間必要額を計上した。

## 3. 東海国立大学機構と富士通 スパコンやAIを活用した技術開発の包括協定を締結

- 2月24日、名古屋大学と岐阜大学を運営する東海国立大学機構と電機大手の富士通は、技術開発などに関する包括協定を締結した。スーパーコンピューターや人工知能(AI)などを活用し、健康や医療、宇宙活動に関わる研究を進める。
- 健康医療では、両大学の病院などで得られた電子カルテや健康診断の膨大なデータを蓄積し、AIなどを活用して機構と富士通が共同で分析し、生活習慣病や高齢者の心身機能が衰える「フレイル」などを予防する方法の開発に活かす。
- 宇宙活動では、月や火星の探査などで人類の活動が宇宙に広がることを見据え、名古屋大学宇宙地球環境研究所と富士通が新技術や安全対策を研究する。

## 景 気 指 標

三十三総研  
2023/3/31

## &lt;愛知県&gt;

(注) ( )内は前年同期(月)比 &lt; &gt;内は季節調整済前期(月)比

	2021 年	2022 年	2022年				2022年			2023年	
			1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	10月	11月	12月	1月	2月
大型小売店販売額	( 1.3)	( 2.8)	( 1.5)	( 3.7)	( 2.8)	( 2.9)	( 3.7)	( 1.8)	( 3.3)	( 3.1)	
百貨店	( 7.1)	( 10.6)	( 6.6)	( 19.2)	( 12.8)	( 6.1)	( 11.4)	( 5.0)	( 3.3)	( 18.6)	
スーパー	(▲ 0.5)	( 0.1)	(▲ 0.1)	(▲ 1.0)	(▲ 0.3)	( 1.6)	( 0.9)	( 0.4)	( 3.2)	(▲ 2.2)	
新車登録・販売台数(台)	210,783 (▲ 3.5)	188,998 (▲ 10.3)	55,440 (▲ 18.0)	38,430 (▲ 18.4)	46,813 (▲ 3.1)	48,315 ( 1.0)	16,051 ( 22.0)	16,566 ( 0.2)	15,698 (▲ 13.5)	18,071 ( 13.9)	21,061 ( 29.5)
有効求人倍率(季調済)	1.17	1.37	1.31	1.36	1.39	1.43	1.43	1.43	1.44	1.42	
新規求人倍率(季調済)	2.24	2.48	2.45	2.45	2.53	2.49	2.49	2.49	2.48	2.50	
名目賃金指数(調査産業計)	(▲ 1.1)	( 2.1)	( 1.1)	( 3.3)	( 0.6)	( 3.1)	( 1.3)	( 2.9)	( 4.1)		
実質賃金指数(同)	(▲ 0.7)	(▲ 1.1)	( 0.3)	( 0.4)	(▲ 2.9)	(▲ 2.0)	(▲ 3.5)	(▲ 2.2)	(▲ 1.1)		
所定外労働時間(同)	( 3.4)	( 0.3)	( 0.0)	(▲ 2.5)	( 1.8)	( 1.9)	( 8.0)	( 0.7)	(▲ 2.4)		
常用雇用指数(同)	(▲ 0.5)	(▲ 1.2)	(▲ 0.9)	(▲ 0.7)	(▲ 0.9)	(▲ 2.9)	(▲ 2.4)	(▲ 2.5)	(▲ 1.9)		
新設住宅着工戸数(戸)	58,940 ( 7.3)	59,255 ( 0.5)	14,872 ( 18.8)	14,882 (▲ 2.3)	14,320 (▲ 13.6)	15,181 ( 3.9)	4,834 (▲ 5.2)	5,600 ( 15.4)	4,747 ( 1.8)	4,236 ( 4.9)	
鉱工業生産指数	( 5.6)	( 5.2)	(▲ 4.5)	(▲ 10.3)	( 5.8)	( 0.7)	( 10.5)	(▲ 1.6)	(▲ 5.2)	( 6.5)	
	-	-	<▲ 1.1>	<▲ 1.8>	< 4.7>	< 0.2>	<▲ 4.0>	< 3.8>	<▲ 0.4>	<▲ 7.0>	
企業倒産件数(件)	364	370	64	91	103	112	40	38	34	49	37
(前年同期(月)差)	(▲ 178)	( 6)	(▲ 26)	( 12)	( 7)	( 13)	( 11)	( 4)	(▲ 2)	( 29)	( 20)
民間非居住建築物着工床面積(千㎡)	3,407 ( 17.5)	3,689 ( 8.3)	526 (▲ 35.1)	1,205 ( 61.2)	1,194 ( 80.4)	763 (▲ 35.7)	238 (▲ 10.0)	378 ( 48.7)	147 (▲ 78.0)	125 (▲ 39.6)	
名古屋港 輸出(億円)	124,805 ( 19.8)	140,144 ( 12.3)	32,339 ( 9.9)	33,782 ( 5.4)	35,591 ( 17.0)	38,432 ( 16.8)	12,965 ( 25.1)	12,769 ( 16.3)	12,695 ( 9.8)	9,051 ( 1.1)	11,292 ( 7.1)
公共工事請負金額(億円)	5,009 (▲ 5.8)	5,303 ( 5.9)	864 ( 2.8)	2,073 ( 11.9)	1,548 ( 1.2)	818 ( 4.1)	312 (▲ 3.1)	292 ( 27.7)	214 (▲ 8.9)	193 (▲ 9.3)	255 ( 9.6)
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	(▲ 0.3)	( 2.4)	( 0.3)	( 2.1)	( 3.0)	( 4.4)	( 4.1)	( 4.3)	( 4.7)	( 5.0)	( 3.6)

## &lt;東海3県(愛知・三重・岐阜)&gt;

	2021 年	2022 年	2022年				2022年			2023年	
			1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	10月	11月	12月	1月	2月
大型小売店販売額(全店)	( 0.8)	( 2.0)	( 1.2)	( 2.2)	( 1.8)	( 2.6)	( 3.3)	( 1.4)	( 3.1)	( 4.6)	
同 (既存店)	( 1.1)	( 1.7)	( 1.6)	( 1.9)	( 1.6)	( 1.9)	( 2.3)	( 0.5)	( 2.7)	( 4.2)	
新設住宅着工戸数(戸)	80,507 ( 7.2)	80,112 (▲ 0.5)	19,449 ( 12.1)	20,249 (▲ 1.6)	20,177 (▲ 9.6)	20,237 (▲ 0.1)	6,678 ( 3.4)	7,290 ( 3.6)	6,269 ( 3.0)	5,623 ( 2.7)	
有効求人倍率(季調済)	1.22	1.43	1.36	1.42	1.46	1.47	1.47	1.48	1.48	1.46	
新規求人倍率(季調済)	2.26	2.51	2.46	2.50	2.59	2.53	2.54	2.53	2.53	2.52	
鉱工業生産指数	( 6.7)	(▲ 1.9)	(▲ 0.4)	(▲ 7.5)	( 3.9)	(▲ 3.3)	( 5.9)	(▲ 4.1)	(▲ 10.2)	(▲ 0.9)	
	-	-	< 3.3>	<▲ 4.8>	<▲ 0.2>	<▲ 0.4>	<▲ 5.6>	< 8.3>	<▲ 3.4>	<▲ 4.6>	
企業倒産件数(件)	538	534	99	135	142	158	58	50	50	65	58
(前年同期(月)差)	(▲ 208)	(▲ 4)	(▲ 31)	( 26)	(▲ 6)	( 7)	( 9)	( 0)	(▲ 2)	( 38)	( 30)
域内外国貿易 純輸出(億円)	82,815	67,171	17,706	15,615	14,523	19,328	5,995	7,075	6,257	1,153	5,930
輸出(億円)	169,902 ( 19.8)	190,724 ( 12.3)	44,035 ( 10.3)	45,893 ( 6.0)	48,745 ( 18.0)	52,052 ( 14.7)	17,258 ( 25.7)	17,713 ( 14.8)	17,081 ( 5.3)	12,021 (▲ 0.5)	15,493 ( 4.9)
輸入(億円)	87,087 ( 23.2)	123,553 ( 41.9)	26,329 ( 34.2)	30,278 ( 42.5)	34,222 ( 56.3)	32,724 ( 34.5)	11,263 ( 64.0)	10,638 ( 25.8)	10,824 ( 20.3)	10,868 ( 21.3)	9,563 ( 16.5)